[redacted]

資料紹介

乱歩の土蔵で眠っていた鳥羽造船所の蔵書

宮本祐希

旧乱歩邸の土蔵には二万冊もの蔵書が保管されており、そのうち二千六百冊ほど占めているのは洋書である。この洋書を対象とした書物調査が、昨年秋から開始されている。調査内容は主に「乱歩蔵」という蔵書印の有無の確認である。この乱歩の蔵書印は三種類発見されているのだが、どの資料に押印されているのか、三種類の蔵書印はどのように使い分けられているのか傾向を探るのを目的としている。

この調査と並行して、本の書き込みや挟まったメモなどを確認しているのだが、これらの調査で取り扱った資料一冊紹介したい。

それはHugo Münsterbergの『Psychology and industrial efficiency』という本である。

大まかな内容は、鉄道・船といった交通機関業務などでの実験例を取り上げながら、職業に関して心理学と結びつけ論じたものである。ちなみに乱歩はこの著者の他書籍も読んでおり、その影響から「心理試験」（一九二五年）を書き上げ、本文内でも「心理試験の提唱者ミュンスターベルヒ」と言及している。

乱歩が所持したこの書籍に関して注目したいのが、「帝国汽船株式会社鳥羽造船所」という蔵書印が押されている点である。【図1】

現調査段階においてこの蔵書印が確認されている本はこの一冊だけであるが、なぜ鳥羽造船所所蔵の本が乱歩の元に存在するのかは今のところ不明である。一九一九年にこの鳥羽造船所を退社する際、貰い受けたのだろうか。それとも何も言わぬまま持ち去ったのだろうか。どちらにせよこの本に思い入れがあったと思われる。

その根拠は、先述の通り乱歩が著者Münsterbergから大きく影響を受けていた点のほかに、鳥羽造船所社員時代には「工場管理ノ洋書ヲ買ッテモラッテ毎日ソレヲ読ンデイルヨウナ勝手ナ勤メ方」（『貼雑年譜』一九四一年執筆）をしたという回想からも読み取れる。また、同書の労働や労働者の効率を問題化している内容だが、社員当時の乱歩が発行及び編集者として創刊した社内報『日和』の第二号（一九一八年）では、町民と社員たちにおける「人心の統一」を求めており、関連性がうかがえる。

最近世界の努力は産業革命のあと仕末、即ち思想的統一の方面に在つた。

我等はいやが上にも主義と中心との明瞭ならんことを要求して止まぬ。斯くして組織ある人心の統一はなり、有意義なる生産業は始まる。

そのほか次号では「県当局の見たる鳥羽造船所」と題して県知事との座談会記録を掲載する、国際労働会議にて労働代表として出席した者と縁を結ぶなど、当時は労働及び労働者問題に注力していたことがわかる。

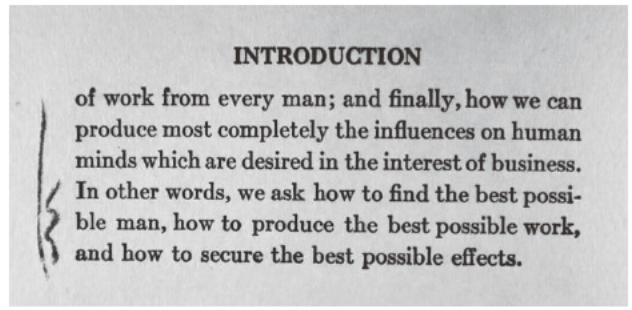
それを裏付けるかのように、蔵書『Psychology and industrial efficiency』の本文には、多くの線が引かれている。その線の書き込みを見

るに、乱歩はこの本におけるMünsterbergの研究視点①「The best possible man」（最適な労働者の選抜）②「The best possible work」（最良の仕事方法）③「The best possible effect」（最大の効果発揮）［以下、訳：稿者］に着目していたようだ。【図2】

他にも「Everywhere, in all countries and in all vocations, but especially in the economic careers, we hear the complaint that there is lack of really good men.」（すべての国、すべての職業、特に経済の方面では、良い労働者が不足しているという不満を確認している。）という文から、当時一九一〇年代の世界中での労働環境に目を向けていたという乱歩の関心が読みとれる。

以上、この「帝国汽船株式会社鳥羽造船所」という蔵書印があるたった一冊の本から、労働周辺の問題に奔走していた社員時代の乱歩の気配を感じ取ることができる。

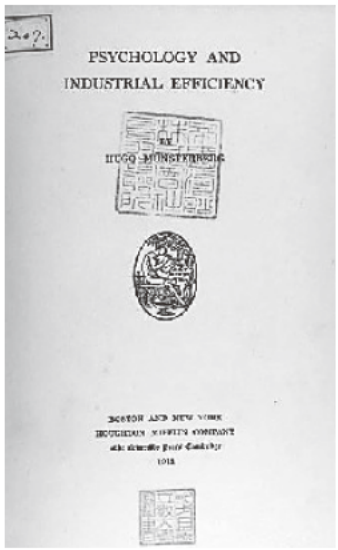
（立教大学大学院生）



INTRODUCTION

of work from every man; and finally, how we can produce most completely the influences on human minds which are desired in the interest of business. In other words, we ask how to find the best possible man, how to produce the best possible work, and how to secure the best possible effects.

【図2】同上「INTRODUCTION」結末部分で説明されるMünsterbergの研究視点の箇所に、印が書き込まれている。

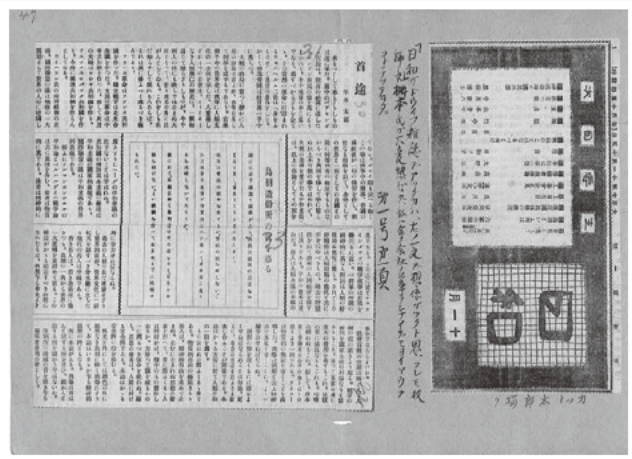


PSYCHOLOGY AND INDUSTRIAL EFFICIENCY

BY HUGO MÜNSTERBERG

BOSTON AND NEW YORK
HOUGHTON MIFFLIN COMPANY
the Riverside Press Cambridge
1913

【図1】Hugo Münsterberg:Psychology and industrial efficiency,Boston:Houghton Mif-flin,1913.
（立教大学図書館蔵）
扉にて「帝国汽船株式会社鳥羽造船所」という蔵書印が確認できる。



【図3】鳥羽造船所社内報『日和』（第一号、1918）こちらは創刊号。創刊号、第2号はイラストも乱歩が手がけた。（『貼雑年譜』より）